

舗装個別施設計画



平成 30 年 12 月
令和 2 年 4 月変更
令和 3 年 3 月変更
令和 4 年 4 月変更
令和 5 年 4 月変更
令和 6 年 3 月変更
令和 7 年 3 月変更

佐賀県吉野ヶ里町

目 次

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

2.3 管理基準

2.4 点検方法・点検頻度

2.5 使用目標年数（分類Bの道路）

3. 計画期間

3.1 計画期間

3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

5.2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s 舗装	C o 舗装	
1 級町道	21. 18 k m	20. 99 k m	0. 04 k m	99. 3%
2 級町道	21. 37 k m	21. 25 k m	0. 02 k m	99. 5%
その他町道	97. 98 k m	89. 45 k m	0. 45 k m	91. 8%
計	140. 74 k m	131. 72 k m	0. 68 k m	94. 1%

※ A s 舗装に簡易舗装が含まれる

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト削減を目指す

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	1 級町道、2 級町道
分類Dの道路	その他町道

2.3 管理基準

ひび割れ率	わだち掘れ量	I R I
20～40%	20～40m m	8m m／m

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	目視点検	1 年に 1 度
分類Dの道路	目視点検	1 年に 1 度

3. 計画期間

3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、7年とする

3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

診断結果を基にした修繕費用を以下のように見通し、優先順位を定めることにより計画的な修繕を行い、修繕費用の平準化を図る。

また、今後の点検結果や社会情勢等により、実施時期の再検討を行うなど効率的な修繕を実施し、費用縮減を図る。

(単位：百万円)

R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
118.0	122.8	131.5	42.5	25.3	46.3	23.5

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

- ・平成 25 年度に点検した 123.3 km の診断結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ		
				Ⅲ－1	Ⅲ－2
分類Cの道路	14.0km	27.1km	0.4km		
分類Dの道路	18.0km	58.3km	5.5km		

区分Ⅰ 健全 損傷レベル小

管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。

区分Ⅱ 表層機能保持段階 損傷レベル中

管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。

区分Ⅲ 修繕段階 損傷レベル大

管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態である。

5.2 対策内容と実施時期

- ・別図のとおり